

新潟市省人化サポート補助金 取組事例

事例1 【飲食業】 有限会社山田

【事業者概要】 ※申請時点

所在地・・・新潟市北区 設立・・・1995年 従業員数・・・90人

主たる事業・・・イタリア料理店、日本料理店

導入機器 セルフオーダーシステム

導入前：従業員が客席に出向きオーダーを受注

導入後：客席にQRコードを設置し、顧客がスマートフォンを通じて注文

成果と今後の展望

➤ 省人化効果：16時間（一日換算・3店舗合計）

➤ 主に飲み物のオーダーで利用。受注ミスが解消され迅速な提供が可能に。

➤ 「省人化により生まれた空き時間で何ができるか」を従業員が自ら考え、業務改善をすることで従事員の意識改革が進み、モチベーションが向上。

➤ 今後はセントラルキッチン※の機能を拡充し、作業の集約による効率化と「働きやすさ」の向上を目指す。「飲食業でもしっかり休み稼ぐ」を実践していきたい。

※複数のレストランで提供される料理の調理を1カ所で行う施設

省人化によりホール全体に意識を向けられるようになり、追加料理やワインを提案→顧客満足度も売上もUP



新潟市省人化サポート補助金 取組事例

事例2【飲食業】イタリア料理&バル たんと

【事業者概要】※申請時点

所在地・・・新潟市江南区、西区 設立・・・2008年 従業員数・・・20人
主たる事業・・・イタリア料理店

導入機器 掃除用ロボット

導入前：ホール担当の従業員が床掃除を実施

導入後：床掃除をロボットに代替し、従業員は他の業務に従事可能に

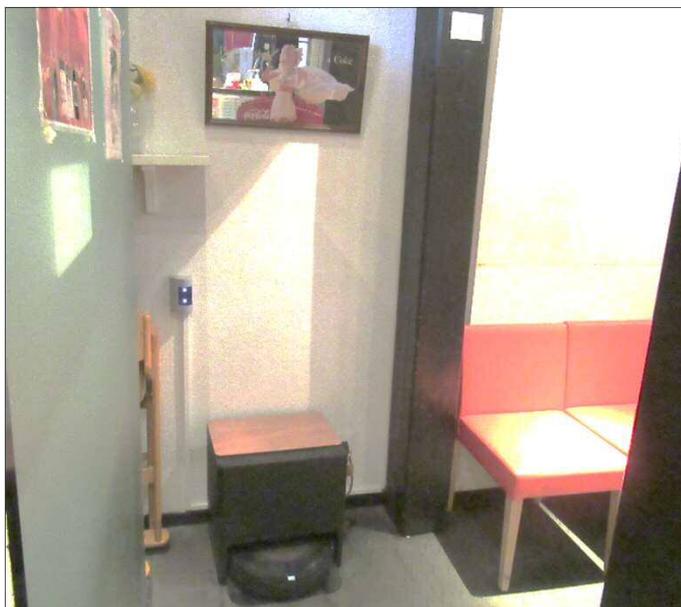
成果と今後の展望

➤省人化効果：2時間（一日換算・3店舗合計）

➤機器導入による空き時間で、未経験の料理仕込み作業に従事するなど、従業員のスキルアップに繋がった。

➤働き方改革の推進に向けて、機器導入やシフト体制の見直しを日々検討し、試行中。従業員の健康を最優先に考え、安心して働ける環境づくりを進めていく。

機器導入の効果に加え、勤務体制の見直しにより、完全週休二日制を達成！



新潟市省人化サポート補助金 取組事例 事例3 【歯科医業】 あきはそらいろ歯科

【事業者概要】 ※申請時点

所在地・・・新潟市秋葉区 設立・・・2019年 従業員数・・・5人

主たる事業・・・歯科医業

導入機器 自動精算機（セルフレジ）

導入前：事務職員が会計業務を担当

導入後：患者自身に会計をしてもらうことで、事務職員が他の業務に従事可能に

成果と今後の展望

▶ 省人化効果：1.5時間（一日換算）

▶ 一日2回行っていたレジ締め作業が不要となった結果、**会計ミスの発生を防止でき、職員の精神的負担が軽減。**

▶ 他の業務に集中して取り組めるようになり、SNSの更新頻度が増加。

▶ 患者自身に会計をしてもらうことで、**患者の待ち時間の短縮**にも寄与。

▶ 今後は、患者のスマートフォンとセルフレジを紐づけすることで、予約から会計までを一括して完結できるシステムを導入予定。

▶ DXを推進し、治療部門への人的資源の集中と、ホスピタリティ向上の両立を目指す。

職員による紙幣、硬貨への接触が減り、感染対策にも有効

